PRODUCT SPECIFICATION

【HPC-ENBI-024】光沢白塩ビ透明糊/ウォールグラフィックス用

■製品仕様

サイズ紙 ： 1,370mm×30m
管　　： 3 インチ
離 型 紙 ： 両面 PE コート紙シリコーン処理ライナー
基　　材 ： ポリ塩化ビニル 厚み 50μ
粘 着 剤 ： アクリル系透明糊強粘着 厚み 50μ
接 着 力 ： ステンレス板/180 度 Peel 初期値→23.3N/25 mm 貼付後 24 時間→26.2N/25mm
ボールタック ： No.22（J DOW法）
保 持 力 ： ステンレス板 測定不能（mm/3,600 秒）
耐 候 性 ： 5 年耐候（印刷なしの状態）
※弊社試験結果に基づいた測定値であり、保証値ではありません。
貼付環境温度 ： 5°C～25°C
使用可能温度 ： -20°C～70°C
※弊社試験結果に基づいた測定値であり、保証値ではありません。

■特徴

- コンクリート、レンガ、タイルなどに貼り付け可能な壁面装飾用メディアとなります。
- 粘着性が高く柔らかい糊を使用しているので、粗面や凹凸面への密着性に優れます。
- 壁面に直接施工するので、災害時にも看板落下等の心配がありません。

■推奨ラミ

NHF-550G/M 50μキャストラミネートフィルム グロス/マット
Series 3220G/M 50μキャストラミネートフィルム グロス/マット

■耐候性について

本製品に推奨オーバーラミネートで加工を施し、日本国内の標準的な環境下で垂直面にて施工した 場合、およそ屋外 1 年の耐候性を有しています。

（注意事項）

- 耐候性の数値に関しては促進試験の結果によるものであり、保証年数ではありません。
- 耐候性の数値は貼り付け下地の凹凸面に追従し、密着に問題がない場合に限ります。
- 施工方法や使用環境により、数値よりも短くなる場合があります。
- インクの耐候性は種類ごとに異なりますので、各プリンタメーカーにお問い合わせください。

PRODUCT SPECIFICATION

■取り扱いの注意点

- インクジェットプリンタ・インク及び出力時の作業環境（気温や湿度）により出力条件が異なります。テストプリントでご確認の上、ご使用ください。
- メディアをセットする際に、印字面に直接触れないようにしてください。皮脂等の付着により発色に悪影響を及ぼす場合があります。取り扱い時には手袋等のご使用をお勧めします。
- 万一材質に起因する不具合が生じた場合、またはご購入時の製品の不具合に関しましては材料のみお取替えいたします。出力費・施工費などのクレームに関しては負いかねますので予めご了承の上、ご使用ください。
- 印字後は充分に乾燥時間を取ってください（推奨48時間以上）。乾燥させる際はメディアを広げた状態で放置してください。長尺品の場合は、印刷面が離型紙に接触しないようにし、できるだけ緩く巻いて、印刷面が外気に触れて乾燥を促進するようにしてください。雨の日など湿度の高い環境では、除湿するなどの対応策をお願いします。乾燥不良の場合、フィルムの収縮や接着力不足などの危険性があります。更にはラミネートフィルムの粘着剤に悪影響を及ぼす場合があります。
- 被着体が 5°C以下の場合は、充分な接着力が得られませんのでご注意ください。
- 湿度の高い場所では、充分な接着力が得られない場合があるのでご注意ください。

■施工可否判断と注意事項

- コンクリート等の下地は経年劣化により施工可否判断を慎重に行う必要があります。施工前に余裕を持ってサンプルにて事前の貼り付けテストを必ず実施してください。
- 外壁などの下地表面がもろく削れやすい・粉状の汚れが付着する（下地清掃後）、塗装面の密着が悪いなどの場合はフィルムの剥離原因となる場合がありますので施工はお控えください。
- 降雨時や水清掃などにより下地が濡れている場合の貼り付けは接着不良となりますので、下地が完全に乾燥してから施工を行うようにしてください。
- 降雨などにより施工後のフィルムに常時水分の侵入がある場合、又は水分が染み出してくる場合はフィルムの剥離や外観不良の原因となる恐れがあり被着体としては推奨できません。
- 新築や改修工事等により新しく塗装した場合、塗装面が定着するまで 10 日ほどの乾燥時間が必要となります。乾燥不良での貼り付けは剥がれの原因となる恐れがあります。
- 貼り付け下地の表面温度が 5°C以下の場合は、接着力が低下する事が考えられますのでヒートガンなどの熱源で十分暖めてから施工するようにしてください。

■施工に適さない下地

- シリコン、テフロン、親水コートなど汚れの付きにくい処理を施している下地
- 曲面がありフィルムを伸ばして施工する必要のある下地
- 水分の侵入しやすい乾式タイルや、裂け目から水分の染み出しがある下地
- 吸水性が高く、降雨時に水分が染み出す可能性の高いコンクリートブロック
- 砂目調など凹凸が微細な下地、又は表面がもろく削れやすい下地
- 凹凸の深さが 3 mm以上ある外壁、又は角が鋭くフィルムの避けやすい下地

PRODUCT SPECIFICATION

■施工前の下地清掃

- 下地表面に埃や土砂などの汚れがある場合は十分な接着力が得られません。清掃には水/IPAを50/50の割合で希釈し高圧洗浄機などを使用し汚れを取り除いてください。目地のある下地材は特に目地部分の清掃を丁寧にお願い致します。目地部分に汚れが残っていると、貼り付け後の浮き上がりの原因となる恐れがあります。
- 清掃後も経年劣化により下地表面が粉っぽくなっている場合、十分な接着力が得られないことがありますのでプライマーによる下地処理が必要となります。
- プライマーにて下地処理を施す場合は、プライマーメーカーの推奨する手順に従いムラのないように出来る限り均一に下地処理を行ってください。

■貼り付け確認の事前テスト

- 下地の清掃・乾燥後、フィルムサンプルを専用工具にて貼り付け、接着力が上がるまで 30 分程度放置し接着の有無を確認いたします。接着力の確認は下記 2 項目をクリアしていれば貼り付け可能です。
  I、貼り付けたフィルムサンプルが下地材に十分追従していること
  II、貼り付けたフィルムを剥がす際にフィルムが伸びるほど接着していること
- 上記の貼り付けテストの確認でフィルムを剥がした際、フィルム側に下地の表面材が取れて付着している場合はプライマー等で下地処理が必要となります。

■施工時に必要なツール

- ヒートガン、専用圧着ローラー、スキージー（厚手フェルト付）、赤外線放射温度計、耐熱グローブ、マスキングテープ、下地洗浄道具（高圧洗浄機、水、IPA）、カッターナイフ

■施工方法と注意事項

（写真1）

（写真2）

■施工方法と注意事項

目地部分はヒートガンで 130°C~150°Cの熱をかけた後に、スキージーのフェルト部分を押し付けるように圧着して貼り付けます。スキージーにて垂直方向（写真3）続いて水平方向（写真4）にゆっくりと押し付けて圧着していきます。スキージーのフェルトは厚手のクッション性の良いタイプを利用して圧着する事をお勧めします。

※スキージーを目地方向に滑らせるとフィルムが破れることがありますのでご注意ください。

（写真3）

（写真4）

III、フィルムの繋ぎは 20 mmを目安に重ね貼りをして下さい。凹凸面に突き合わせで貼り付けを行うと、貼り付け時に隙間が生じる事があります。また、重ね幅が小さいとフィルムの収縮により施工後に隙間が生じる事があります。

目地部分施工の良い例

目地部分施工の悪い例

V、フィルムが下地の凹凸に十分追従し、浮き上がりなどの現象がなければ作業終了となります。

■剥離時の注意事項について

- 本製品の粘着剤は強粘着のため基本的には再剥離性能を有してはおりません。但し使用期間・被着体・状況・剥離方法などにより剥離性能は変化します。下地に粘着剤を残りにくくするには、加熱をしながらゆっくりと剥がして下さい。
- フィルムを剥離する際にジェットリムーバーなどの剥離剤を端部に吹き付け 10 分程度放置すると、端部が剥がし易くなります。
- 下地材と塗膜の密着性が悪い又は塗膜が劣化している場合には、フィルム剥離時に塗装を剥がす恐れがありますのでご注意ください。

■保管、その他

- 高温多湿での保管は避け、開封後はできるだけ早めにお使いください。(目安として半年程度)特に高温多湿環境で長時間保管されると、フィルム表面の艶感に悪影響を及ぼすことがあります。
- フィルムは紙管に巻いた状態で宙吊りにして保管してください。
- 製品につきましては、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。
- 本製品説明書に用いている数値は、いずれも保証値ではありません。
- 使用後の廃材は産業廃棄物として処理してください。

HOMARE PRINTING
DISPLAY & DESIGN SOLUTION
〒550-0003　大阪市西区京町堀2丁目6-26 K&G京町堀ビル4F
TEL:06-6449-6577　FAX:06-6449-6477
https://www.homareprinting.jp/